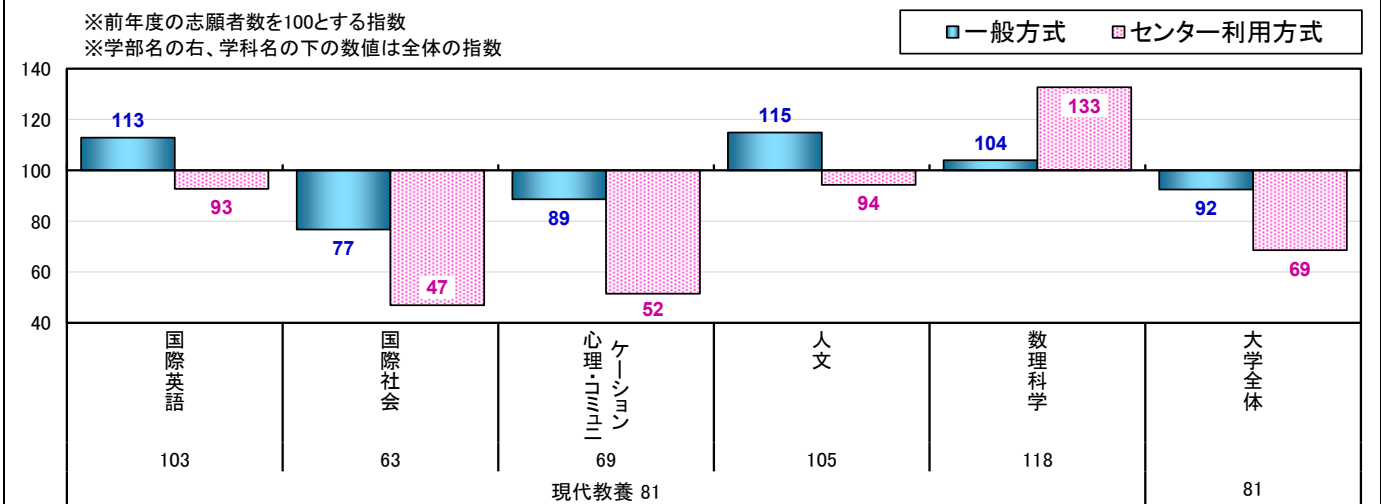


2020 年度入試状況分析【私立大】

東京女子大：大学全体では大幅減少で 2 年連続減少

一般：-399 人 センター：-1,616 人



入試変更点 選抜方法：現代教養(人文/心理)〈セ・3月期〉…理の選択から基礎科目除外

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2,015 人(81)の大幅減少で 2 年連続減少。方式別では、センター利用方式(69)が大幅減少。学科別では、(数理科学)(118)が大幅増加、一方で、(国際社会)(63)、(心理・コミュニケーション)(69)は大幅減少。いずれもセンター利用方式の大幅な増減が影響。

<一般方式>

- 現代教養(国際英語)(113)は、大幅増加で 2 年連続増加。
- 現代教養(国際社会)(77)は、大幅減少で 2 年連続減少。4 専攻全てが減少。(国際社会/社会)(100)を除く 3 専攻は大幅減少。
- 現代教養(心理・コミュニケーション)(89)は、減少。専攻別では、(心理・コミュニケーション/心理)(106)がやや増加、(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)(77)は大幅減少で、いずれも前年度の反動。
- 現代教養(人文)(115)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。3 専攻全てが増加し、特に(人文/歴史文化)(123)は大幅増加。
- 現代教養(数理科学)(104)は、やや増加で 2 年連続増加。専攻別では、(数理科学/情報理学)(115)は大幅増加で 2 年連続増加だが、(数理科学/数学)(92)は 4 年ぶりに減少。

<センター利用方式>

- 現代教養(国際英語)(93)は、やや減少で 2 年連続減少。
- 現代教養(国際社会)(47)は、前年度大幅増加の反動で半減以下。4 専攻全てが大幅減少し、特に(国際社会/コミュニティ構想)(37)は激減。(国際社会/経済)(51)はほぼ半減で 2 年連続減少。
- 現代教養(心理・コミュニケーション)(52)は、前年度大幅増加の反動でほぼ半減。2 専攻とも減少し、(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)(32)は前年度 2.6 倍増の反動で激減、(心理・コミュニケーション/心理)(92)は 2 年連続減少。
- 現代教養(人文)(94)は、前年度大幅減少の反動はなく、やや減少。専攻別では、(人文/歴史文化)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加したが、他の 2 専攻は 2 年連続大幅減少。
- 現代教養(数理科学)(133)は、2 年連続減少の反動で大幅増加。2 専攻とも大幅増加。